

村政を問う 一般質問 11

起債償還費補助金の中途減額は／融雪剤購入契約の最大の問題点は／次期村長選への出馬の意向は／国民健康保険事業の運営状況は／住民及び議会への開示は／地域ネットワークづくりは／ごみ処理はどのような方向に

はくば
白馬
議会だより
92号

平成22年第1回定例会 1

議決結果 10

議会研修視察実施報告書 19

私の思い出 20

わたしのひとこと 21



新入生を守りながらの集団登校

4月6日 飯田

43億1500万円を可決 観光局負担金 1億100万円を承認

- * 一般会計等予算の議案
- * 一般会計等補正予算の議案
- * 条例一部改正の議案
- * 条例制定の発議
- * 規則一部改正の発議
- * その他
- * 一般質問

- 7件
- 7件
- 12件
- 1件
- 1件
- 5件
- 7名

本会議での質疑

●特別職の職員で非常勤のもの報酬に関する条例の一部改正

問 (篠崎久美子) 一部改正により金額的な変動幅はどのくらいなるのですか。

答 (丸山環境課長) 予算は、約7万円増ということですが、

問 (渡辺俊夫) 集積場を設けないでリサイクルを行なっていることには、全く

答 (丸山環境課長) ごみ集積場設置地区割を加算することはありません。

●特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部改正

問 (篠崎久美子) 特別職等を具体的に。

答 (太田総務課長) 副村長・教育長の減額は、村が出したこの金額に対して、報酬審議会の意見を聞き、特に問題がないという、答申を

いただきました。
問 (篠崎久美子) 融雪剤問題に関して、村長及び副村長の給与減額措置の根拠となるものは。

答 (副村長) 他市町村の事例等を参考にして、職員の監督指導の問題があったのではないかと、今回減額を提案しました。

問 (小林英雄) 村長と副村長の給与を4月・5月の2ヶ月間10%削減は、今回の契約と異なる融雪剤事件の責任をとるということですか。

答 (村長) 村長が襟を正し、再度このような問題が起きないように、総合的な観点から、こうした形を出したとご理解をいただきたいと思えます。

問 (小林英雄) 全容がまだ明らかになっていない段階で、先行するように2ヶ月の給与削減は、その責任の重さとして妥当ですか。

答 (村長) 私と副村長のペナルティは、現時点では適正だという認識のもとに上程をしたので、理解いただきたいと思えます。

問 (渡辺俊夫) 副村長・教育長の報酬増額の根拠をもう一度説明してください。

答 (太田総務課長) 大北地域の町村と比較し、その均衡をみて諮問をしたものです。

●福祉医療費給付条例の一部改正

問 (篠崎久美子) 対象年齢延長により昨年と比べて予算がどれだけ増えたか、その財源的裏付けは。

答 (松澤住民福祉課長) 820万円の増額です。財源的には、福祉基金の取り崩しを1000万円し、残り1000万円までにつきまは、小学校3年までにつきまは、県の福祉医療費補助金が2分の1、ありますので、そういったものを含め残りは

平成22年度 一般会計予算

一般財源となります。

●平成21年度一般会計補正予算

問 (篠崎久美子) 地域活性化経済対策臨時交付金、地域活性化公共投資臨時交付金、地域活性化きめ細やかな臨時交付金の目的、使途について制約がありますか。

答 (太田総務課長) 内容は当然制約があります。経済活性化に配慮した事業、公共事業等追加に伴う地方負担の軽減を図り、地域における公共投資を円滑に実施することができるようにということでなされた事業、地元の中小企業に配慮した事業を設定し、その都度計画を国に上げ、許可を得て行います。バリアフリー化については、庁舎玄関の入口まで車イスでこられるような形でスロープを造りたいと考えています。

問 (渡辺俊夫) 融雪剤に関する透明性を図るということで、一般競争入札にできるだけ持ち

込むことが大事だと思います。

答 (副村長) 比較的、金額も小さいということから、村内企業の育成ということを観点においた指名競争入札が適当であろうと考えています。

●平成22年度一般会計予算

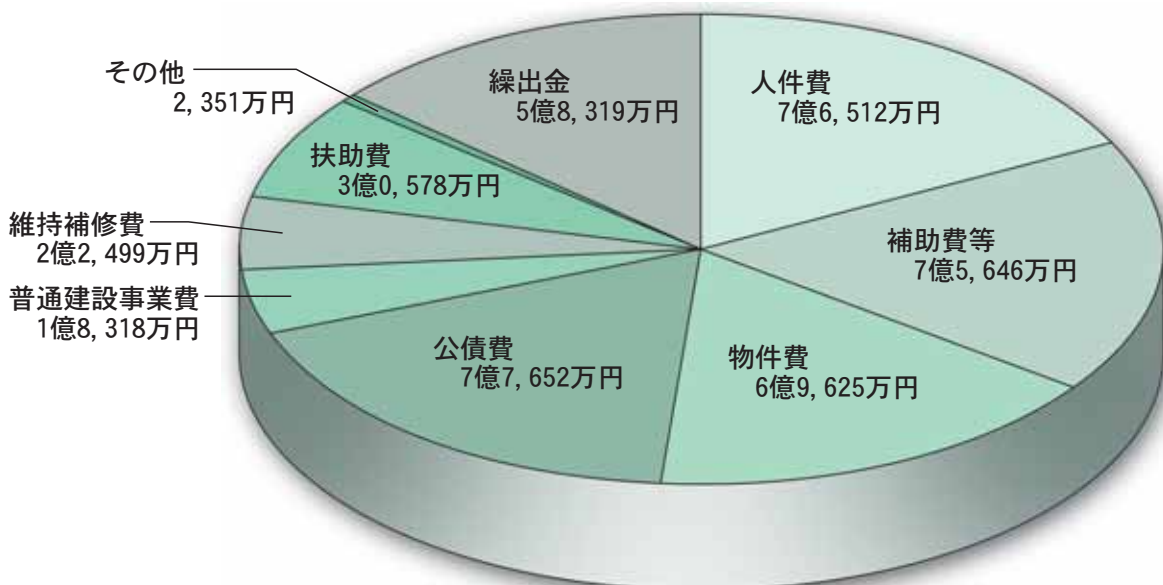
問 (篠崎久美子) 人件費の給与カットについて、一定の成果が見られたという記載がありますが、一定の成果とは。

答 (太田総務課長) 起債残高も減り、今年度は財政調整基金の繰り入れを止めたという状況になっていることです。

問 (太田修) 村民税と固定資産税の滞納繰越分の減額になった理由は。

答 (西澤税務課長補佐) 村民税は景気が低迷する中、個人の所得が伸びない状況であり、1700万円ほどの減額を予算計上しています。また、法人の村民税は、均等割と所得割があり、4法人ほど増え、59万5千円ほど

一般会計 性質別歳出予算 歳出総額 43億1500万円



(千円単位四捨五入)

均等割が伸びますが、所得割は34%ほどの減を予測しています。概ね96%の徴収率を計上しています。固定資産税については、年度末で累計8億4000万円ほどの滞納繰越を予測していますが、今年度は4985万円予算計上しています。

問 (太田修) 観光局への負担金ですが、信州デスティネーションキャンペーン(JR東日本宣伝企画)に係る2000万円の主な内容は。

答 (横澤観光農政課長) 宣伝の媒体ですが、月刊誌5誌、サライ、ビーパル、ランドネ、一個人、ブルータスを予定しています。中でもビーパルは白馬村だけで160ページ1冊にして、全国販売を検討しています。

問 (渡辺俊夫) 自殺予防のカウンセラーの件は、役場の中に窓口を作り電話を受けられることができるというところでですか。

答 (松澤住民福祉課長) 保健師が、色々な相談の窓口は設けていますが、それとは別に考えています。

(渡辺俊夫) 塵芥費の委託先は。

問 (丸山環境課長) 11項目の業務を7つの業者に委託しています。

●村税の滞納に対する特別措置に関する条例の制定

*注 滞納者の氏名の公表に関する条例

問 (横田孝穂) 滞納者の氏名・住所・その他必要と認める事項を公表することができるとあります。現在、小田原市において、滞納者氏名等の公表を条例化していますが、個人情報保護法の問題、また民法上のプライバシーの侵害など、また実際には、発生した時点における個人の権利・利益の救済等があり、実際には実施に至っていない状況です。個人情報保護と活用のバランスが大変重要な課題であり、どのようにクリアし、実施しますか。

答 (渡辺俊夫) 小田原市の他に、もいくつかこの公表条例を設置している自治体があります。小田原市でも、実際、前の議会で視察に行っ

て話を聞きましたが、この公表条例に関しては、今のところはまだ実施していません。もし、実施して裁判になれば、司法の場で論議する必要があるという話を聞きました。即ち、条例化することに関しては、何ら問題はないということですが、実際に、これを条例どおり措置をすることには慎重になるべきだと思います。ただこの条例の趣旨に

問 (横田孝穂) 村税滞納審査会における委員会の設置が見当たりませんが、構成委員また内容等、細部については、また、条例上において、秘密を守る義務に関する条項がないが、審査会における守秘義務の扱いは。

答 (渡辺俊夫) この審査会の構成等に関しては、この条例に伴って施行規則などを整備する必要があります。ちなみに、小田原市では、この審査会は弁護士や様々な

専門家が入って構成されると聞いています。

問 (篠崎久美子) 行政サービス停止の範囲は。サービス停止・滞納者の氏名等の公表の履行期間はいつですか。氏名等公表を受けた住民が、税金の滞納を解消した場合の処理方法は。条例の効果は。

答 (渡辺俊夫) 行政サービスに

問 (篠崎久美子) 通告制が実施され、前日の9時までに、議案の提案説明もなしに、質問の要旨を通告する改革が12月にありました。それは事実上、不可能ではないかという趣旨の基に、この発議をしました。

答 (篠崎久美子) 発議をされるからには、きちんとした条文番号を付けて発議をされたら、どうですかと思えます。

答 (小林英雄) 会議において発言しようとする者は、挙手又は起立して議長と呼び、自己の議席番号を告げ、議長の許可を求めなければならぬ。発言の要求はこれのみでよいというふうに考えております。

●議会会議規則の一部改正

問 (篠崎久美子) 通告をした者という言葉が出て来ていますが、その部分に関しては、何も記載がありません。どのようにお考えですか。

答 (小林英雄) この3月議会で

答 (総務社会委員長) その実態についての検証は特にしていません。

問 (渡辺俊夫) 小田原市など先進地では実際に条例が運用されています。その実態の把握を、委員会としてしましたか。

答 (小林英雄) 会議において発言しようとする者は、挙手又は起立して議長と呼び、自己の議席番号を告げ、議長の許可を求めなければならぬ。発言の要求はこれのみでよいというふうに考えております。

答 (渡辺俊夫) 小田原市など先進地では実際に条例が運用されています。その実態の把握を、委員会としてしましたか。

答 (総務社会委員長) その実態についての検証は特にしていません。

●議会運営委員長報告

問 (小林英雄) 通告しなくても発言できるといようなことが、議会運営委員会の中で議論されましたか。

委員長報告は、昨日の午後の全員協議会ではじめて聞いたので、昨日の午前9時までに通告できません。他の議員の質問を聞いて、又は説明や報告を聞いて、質問したいこと



バリアフリー化改修予定の階段 (庁舎玄関)

答

が出て来た時には、「議事進行、一身上の弁明等についてはこの限りでない」となっています。この「等」で質疑や討論ができるのは、どんな時ですか。

(議会運営委員長) 委員長の報告に対する質疑は、審査の結果と結果に対する質疑に留めて、付託された議案に対し、提出者に質疑することができないとなっています。

本会議での討論

●特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部改正

反対討論 (小林英雄) この給与カットは、融雪剤事件についての責任をとることを説明をされています。今回の事件の全容が解明され、問題点が明らかにされて初めて再発防止策がとられるべきです。その意味で今回の問題は、また全容が解明されず、問題点の把握は不十分だと思います。

一つ目は、納入業者は名譽にかけて調査し、公表すべきであり、村も要求すべきではないでしょうか。二つ目には、Cタイプの商品が実際に存在するの。三つ目に、支払った代金については「特に不利益はなかったと判断し、代金の返還要求はしない」ということです。業者が契約と違った物を納品し、代金をもらっていることは、一般常識では考えられないと思います。

賛成討論 (横田孝穂) 再発防止に向けての対策を明確に実行し、危機管理体制の確立を望みます。管理者として、村長・副村長は、自ら姿勢を正し、一刻も早く村民の信頼回復に努めるべきであり、報酬の減額を実施することは、適切な措置と判断します。

反対討論 (渡辺俊夫) 村職員の中でも特別職である者の給与の増額は、現下の住民の生活実態から掛け離れ、到底理解できません。また、2ヶ月間の減俸、融雪剤事件についての責任をとってとの説明がありました。しかし、未だ全容の解明すらできていない状態

での処分は認めることができません。

●国民健康保険条例の一部改正

反対討論 (小林英雄) 低所得者に重い負担を強いるような、その典型が国保税ではないでしょうか。

2009年6月現在の国保税の滞納は445万世帯、滞納率は2割を超えています。滞納を理由に保険証を取り上げられ、医療費の10割負担を求められる資格証明書に替えられた世帯は31万世帯にまで達しています。

国の統計では、国保税の収納率は88・3%に低下しております。この数字は、国民皆保険制度となった、61年以降最低の数字です。その原因は、高すぎる保険料にあることは間違いありません。村民が直面する困難を解決し、制度を改善していく取り組みが、今何よりも求められていると思います。

賛成討論 (太田伸子) 村は地域柄、いわゆる観光産業が中心の村であるため、自営業者

や季節労働に従事する人が多いことから、全世帯数の半分が、国保加入世帯になっています。そのため、他の市町村に比べ、村の負担も大きなものとなっています。1昨年9600万円あった基金を取り崩し、来年度には基金残高が5000万円になってしまいます。所得割を1・6引き上げて、資産割は据え置きます。均等割も5000円に引き上げて、健全な国保会計に近づけるためにも、改正を求めます。

●平成22年度一般会計予算

【反対討論】(渡辺俊夫)

新年度予算の人件費は2600万円増となり、予算総額に占める割合は17・7%で昨年比3・6%も上昇しました。

一方、村税収入は全体で前年比4・1%の減額を見込んでいます。個人住民税は6・6%減、法人住民税はなんと12・7%減です。ちなみに、民間の給与は8%減と見込んでいます。給与の増額は、今

の住民の生活実態から掛け離れ、理解できません。また、観光局負担金に関して、観光戦略事業では、観光宣伝事業の新規事業分として新たに3000万円を計上しています。競争が激化している観光市場の中であって、いかに他者との違いを出し存在感を出させるかが今最も大事な課題であり、最も優先して取り組まねばならない事項であると考えます。即ち、今、正に投資すべきは村の「中」にあり「外」ではないのです。

【賛成討論】(横田孝穂)

予算特別委員会においては、これまで村民サービスの向上を目指し、職員数の削減や公債費の縮減など義務的経費の圧縮を進め、また財政基盤の健全化に努め、平成22年度において、

村税徴収率の向上など自主財源確保の取り組みを引き続き強化し、持続可能な財政運営を前提に、限られた予算の中で、必要なものを見極め、無駄を排除する選択が必要であると説明がありました。連日審議した結果、平成22年度一般会計予算は適切であると確

信しました。

●議会会議規則の一部改正

【賛成討論】(渡辺俊夫)

僅か12名の村議会にあって、真に議論の府として住民に信頼される議会を目指すために議会改革の歩みこそ進めるべきであり、正に、後退させるような先の改正、言ってみれば改悪を改正する必要があります。

【反対討論】(田中榮一)

委員長報告にもありましたように、今の議会会議規則が、議員の自由な発言を制限するものとは思いませんし、議会の活性化を損なう内容を持つ会議規則とも思いません。

●平成21年度一般会計補正予算6号

【反対討論】(渡辺俊夫)

歳入の中に雑収入、弁償金というところで、38万5千円が計上されています。融雪剤に関する弁償金であるということですが、まだ検証すべき事項が残っている状態であり、議会での精査も済んでいない状態での処分は拙速です。

【賛成討論】(太谷正治)

員会の中で、何度もこの金額については説明があり、適正だと思えます。



地域医療を担う安曇総合病院白馬診療所

このような審議がありました

予算特別委員会

● 一般会計予算

スノーハープ木橋等 改修に5,698万円

歳入歳出それぞれ43億1500万円、前年度当初予算に比較すると2200万円の減です。

総務課

主なものは、地域情報通信基盤整備に985万円、参議院選挙・県知事選挙・村長選挙に1580万円、国勢調査に424万円、北部分団の小型動力ポンプ積載車の更新に670万円、10戸2施設の耐震診断に471万円です。

税務課

歳入の村税が13億7371万円、前年度比5887万円の減です。

滞納金の徴収体制、入湯税について質疑がありました。問 徴収体制については、答 村税徴収職員を1名減らし、延滞金徴収職員を1名増やします。

住民福祉課

子ども手当を通常の児童手当分に加えて9515万円の増、乳幼児医療給付費の給付対象を中学生まで拡充と重度心身障害者医療給付費の給付対象を精神2級まで拡充するため1100万円の増、デマンド型乗合タクシーの運行に1111万円、平成21年度から3ヶ年計画で自殺対策緊急強化事業に63万円計上し、講演会や相談会の実施します。配食サービス事業、医療サー

環境課

建設費の償還終了により白馬山麓環境施設組合負担金の減。ごみの減量化対策として給食残渣の堆肥化、小さなごみ袋を作成します。ごみ集積場設置補助、塵芥処理委託、松川公衆トイレ、野良猫対策、廃屋に対する条例制定と実態調査、オオタカ保護、リサイクル物の取り扱いについて質疑がありました。

観光農政課

産地確立交付金が廃止され、そばの生産者が大幅な減収が見込まれるため、村単独でコメ生産調整負担金701万円を計上し、そばの里づくりの推進ナラ枯れ対策事業に379万円、森林整備事業に496万円、シャトルバス運行事業に9

建設水道課

00万円、21観光戦略事業では宣伝費用として3000万円の増額をし、観光局負担金1億100万円を計上しました。耕作放棄地、観光農政施設の稼働率、国調成果による課税、今後の奈良井地区の整備、有害鳥獣対策、ナラ枯対策、21観光戦略事業、特産品開発、食育基本計画の策定について質疑がありました。

神城山麓線の事業量の減少により1億1500万円の大幅減額になりました。道路維持補修、道路凍結防止剤、除雪費についての質疑がありました。

教育委員会

神城山麓線については、早期完成を要望しました。

スノーハープの木橋等の改修に5698万円、北小・中学校に特別支援のために加配

● 国民健康保険事業勘定特別会計予算

歳入歳出それぞれ11億9998万6千円で、前年度当初予算に比較すると2561万7千円の減です。

今年度は、基金から3000万円の繰入と後期高齢者支援金については、支援金分の税率を改正し、国保財政の安定化を図ります。

国民健康保険給付費が伸び続け、平成20年度一人当たり

講師の雇用と安曇養護学校通学バスに同乗する介助職員賃金157万円、幼稚園就園奨励補助に290万円を計上しました。
ジャンプ台施設の今後の利活用、スノーハープの木橋等の改修と今後の利活用、白馬塾、小・中学校のスキー教室について質疑がありました。
▽ 以上について、賛成多数で可決すべきものと決定。

の医療費は23万1128円で
 県全体では73位にランクされ
 ていますが、入院の増加によ
 り、伸び率は12・7%で県内
 10位です。

▽ 賛成多数で可決すべきも
 保険料滞納者の子どもの保
 険証の取り扱い、給付費準備
 基金について質疑がありまし
 た。

の
 と決定。

●後期高齢者医療特別会計
 予算

歳入歳出それぞれ6484
 万9千円であり、前年度当初
 予算に比較すると203万7
 千円の増です。

▽ 賛成多数で可決すべきも
 保険料滞納者について質疑



新年度、南小新入生の14名。少子化が進む。 4月5日

▽ 賛成多数で可決すべきも
 がありまして。

●老人保健医療特別会計予
 算

老人保健制度終了から3年
 目となり、平成20年3月分以
 前の医療費に係る過誤調整分
 等のみの予算のため、歳入歳
 出それぞれ50万円です。

▽ 賛成多数で可決すべきも
 のと決定。

●下水道事業特別会計予算

歳入歳出それぞれ5億63
 94万8千円で、前年度当初
 予算に比較すると3億671
 6万3千円の減です。今年度
 に高資本対策の借換債がない
 ためです。新規事業としては、
 下水道事業認可申請書作成委
 託に1000万円、農業集落
 排水東部処理区との統合申請
 書作成委託に200万円を計
 上しました。加入率、使用料
 の推移、滞納処分、47スキ
 ー場の区域外流入について質疑
 がありました。

▽ 賛成多数で可決すべきも
 のと決定。

●農業集落排水事業特別会
 計予算

歳入歳出それぞれ3572
 万7千円で、前年度当初予算
 に比較すると3515万8千
 円の減です。今年度に高資本
 対策の借換債がないためです。

▽ 賛成全員で可決すべきも
 のと決定。

●水道事業会計予算

収益的収支額は、事業収益
 2億9390万4千円、事業
 支出2億7364万2千円と
 し、資本的収支額は、収入額
 647万4千円、支出額1億
 5976万円で、資本的収支
 不足額1億5328万6千円
 は、消費税及び地方消費税資
 本的収支調整額・損益勘定留
 保資金等をもって補填します。
 滞納の現状について質疑があ
 りました。

▽ 賛成全員で可決すべきも
 のと決定。

総務社会委員会

中学生まで
 医療費給付拡大

●特別職の職員
 で常勤の者等
 の給与に關す
 る条例の一部
 改正

2月15日に開
 催した特別職報
 酬審議会の答申

を踏まえ、平成22年度の村長・
 副村長・教育長の報酬を、繼
 続して減額するものです。ま
 た、今回の凍結防止剤問題の
 責任から、村長・副村長は4・
 5月分の報酬を10%減額する
 ための改正です。

問

村長の25%減額は据
 え置き、副村長・教育長
 は14%を12%減額にする理由
 は。

答

村長の減額は、就任
 時の公約として任期中
 は25%減額としたい。副村長・
 教育長は、近隣市町村と均衡
 のある額としたい。

問 4・5月分の報酬の10%減額の根拠は。

答 近隣市町村や全国の事例等をしてらしあわせて検討し決定した。

問 融雪剤の問題については、まだ全体像が明らかになっていない。問題が解明されていない段階で、先んじて減額処分が何故されるのか。

答 庁内で、問題について調査、検証し、検討を重ねて処分を決定した。また、議会にも説明をしてきた。全体像と言われてもそれ以上のことは無い。

問 融雪剤の問題については、問題点を検証し、再発防止のために今後十分な対策を講じ、そのことを明確にすべきではないか。

答 再防止のために襟を正して対応していく。

結果については、広報できちんと説明、報告をする。

意見 融雪剤の問題については、役場の担当職員が行おうとしたことは間違っていない。不正行為ではないが、手続き上に不備があったということ

なので、やる気のなくなるような処分にならないように考慮して欲しい。また、業者についても、良かれと思って提案した融雪剤が、異なる成分の物だったということで、一部被害者のな面もあるので、処分についてもその点を考慮して欲しい。

問 県及び、市町村の平均はどのくらいか。

答 長野県の平均は、所得割1・93%（白馬村1・6%）、資産割8・17%（白馬村2・5%）、均等割5975円（白馬村5000円）、平等割5779円（白馬村5000円）です。所得割と均等割は、県下78市町村中最下位で、平等割は76番目です。資産割がそのままなのは、国税全体で白馬村の136世帯が資産割だけで上限の60万円の限度額に達しているためです。

●国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険の被保険者に係る後期高齢者支援金等課税額の所得割額0・65%を1・6%に、被保険者均等割額を一人3000円から5000円に、世帯別平等割額を、特定世帯以外の世帯3000円を5000円に、特定世帯1500円を2500円にそれぞれ増額するものです。

問 影響が大きいのは、どういう人か。

答 所得の低い人達です。ただし、国税全体の限度額は、医療費に関わる者は47万円ですが、国は4月から50万円に引き上げる予定で、所得の多い人達に負担をずらしていく方向です。

問 融雪剤の問題については、問題点を検証し、再発防止のために今後十分な対策を講じ、そのことを明確にすべきではないか。

答 再防止のために襟を正して対応していく。

結果については、広報できちんと説明、報告をする。

意見 融雪剤の問題については、役場の担当職員が行おうとしたことは間違っていない。不正行為ではないが、手続き上に不備があったということ

問 融雪剤の問題については、役場の担当職員が行おうとしたことは間違っていない。不正行為ではないが、手続き上に不備があったということ

答 再防止のために襟を正して対応していく。

結果については、広報できちんと説明、報告をする。

意見 融雪剤の問題については、役場の担当職員が行おうとしたことは間違っていない。不正行為ではないが、手続き上に不備があったということ

問 基金がなくなれば、値上げせざるを得ないのではないか。

答 基金があるのに保険税だけを値上げすることはできない。基金を取り崩しながら様子を見るが、医療費の動向によっては値上げせざるを得ない場合もあります。

意見 1984年には国庫負担が50%ありましたが、現在25%です。保険税負担は、自治体の財政状況により千差万別であり、本村は他と比べて良い方ですが、これは構造的な問題です。保険証を取り上げられたり、短期資格証の人が増加しています。後期高齢者医療制度は、税を徴収する意図で決められ、当初は効果があったが今はありません。命に関わる問題なので値上げしないで欲しい。

●福祉医療費給付条例の一部改正

福祉医療費の給付範囲を、乳幼児（満7歳）から中学校卒業（満15歳）まで拡大し、精神障がい者手帳2級所持者を、支給対象に加えるための改正です。

問 近隣市町村の状況は。

答 松川村は、これまで中学校卒業までの給付を満18歳まで引き上げます。池田町は中学校卒業まで実施し、大町市は小学校3年生までの給付で、長野県と同様です。

問 財源は何か。

白馬村が指定した文化財を保護・保全する上で、減失や破

損した場合の罰則規定を設けるものです。

問 村の指定文化財について知らない村民が多いため、もっと積極的に知らせる努力が必要ではないか。

答 シリーズもので作成し紹介したい。

▽賛成多数で可決すべきものと決定。

▽賛成多数で可決すべきものと決定。

▽賛成多数で可決すべきものと決定。

▽賛成多数で可決すべきものと決定。

▽賛成多数で可決すべきものと決定。

▽賛成多数で可決すべきものと決定。

▽賛成多数で可決すべきものと決定。

答

福祉基金を1000万円取り崩す予定です。また、県は小学校3年生まで2分の1補助します。
▽ 賛成全員で可決すべきものと決定。

● 一般会計補正予算

収入・支出それぞれ712万8千円を減額するものです。主な内容は、庁舎等の改修事業（庁舎正面のエントランスのバリアフリー化）に779万7千円、ジャンプ競技場のリフト改修事業1400万1千円、塵芥処理委託料882万9千円の減、白馬山麓環境施設組合負担金1221万8千円の減です。
▽ 賛成全員で可決すべきものと決定。

● 村税の滞納に対する特別措置に関する条例の制定

村税を滞納し、かつ納税に著しく誠実性を欠く者に対し、納税を促進し滞納を防止するために、特別措置を講じることににより、村税の納税意欲の



議会全員協議会での審議 3月18日

高揚と徴収に対する村民の信頼を確保するための条例です。
意見 滞納について、本村は県下ワースト1の徴収率となっていています。滞納は長年に亘る課題であり、放置できない問題であり、何とかしなくてはという気持ちは議員全員が共有しています。しかし、条例化しても、情報公開に関

して悪質な滞納者の氏名の公表が可能かどうかは大変難しい問題です。意図は十分理解できますが、現実的にはもう少し慎重に検討する必要があります。
意見 条例制定の前に、滞納問題に今まで以上に真剣に取り組む努力をすべきではないか。例えば、対策本部を立ち

上げ、徴税について専門に取り組むようなことを、先ず実行すべきです。

意見 小田原市の研修では、税務署OBを頼み徴税効果があつたという話しを聞いた。そういう方法もあります。

意見 現状では、条例化しているところはまだ非常に少ない。もう少し様子を見るべきではないか。

行政 納税促進が大前提ですが、金融機関が第一の抵当権を設定していますので、効果があるのか慎重に検討する必要があります。税務課では、徴税については差押えなど厳しい姿勢で対応し、やるべきことはやっています。調査や情報収集に関しては、国税徴収法で対応ができます。

意見 滞納問題に関して発議があつたということは、議会として大変重大な問題であるという認識を持ち、納税意識を高めるために更に努力していくことを、議会報で村民に知らせるべきです。
▽ 賛成者なしで否決すべきものと決定。

産業経済委員会

除雪に
7110万円

● 一般会計補正予算

収入・支出それぞれ8293万8千円増額するものです。

問

観光施設整備費とは何か。

答

道の駅白馬とスポーツアリーナのトイレ改修事業等です。
▽ 賛成全員で可決すべきものと決定。

● 議 決 結 果 ●

件 名	議決結果
長野県市町村総合事務組合を組織する市町村数の減少	可決（賛成全員）
長野県市町村自治振興組合を組織する市町村数の減少	
中信地域町村交通災害共済事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び中信地域町村交通災害共済事務組合同約の変更	
長野県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数を減少すること	
行政手続条例の一部改正	可決（賛成全員）
特別職の職員で非常勤のものの報酬に関する条例の一部改正	可決（反対：渡辺、小林）
特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部改正	
一般職の職員の給与の特例に関する条例の一部改正	可決（賛成全員）
一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	
国民健康保険税条例の一部改正	可決（反対：渡辺、小林）
文化財保護条例の一部改正	可決（賛成全員）
福祉医療費給付条例の一部改正	
保育所設置条例の一部改正	
デイサービスセンター条例の一部改正	
墓地等の経営の許可等に関する条例の一部改正	
平成21年度 一般会計補正予算	
平成21年度 国民健康保険事業勘定特別会計補正予算	
平成21年度 後期高齢者医療特別会計補正予算	
平成21年度 老人保健医療特別会計補正予算	
平成21年度 下水道事業特別会計補正予算	
平成21年度 農業集落排水事業特別会計補正予算	
平成22年度 一般会計予算	可決（反対：渡辺、小林）
平成22年度 国民健康保険事業勘定特別会計予算	可決（賛成全員）
平成22年度 後期高齢者医療特別会計予算	
平成22年度 老人保健医療特別会計予算	
平成22年度 下水道事業特別会計予算	
平成22年度 農業集落排水事業特別会計予算	
平成22年度 水道事業会計予算	
村税の滞納に対する特別措置に関する条例の制定	否決（賛成：渡辺）
議会会議規則の一部改正	否決（賛成：渡辺、小林）
固定資産評価審査委員会委員の選任	同意（賛成全員）
平成21年度 一般会計補正予算（追加）	可決（反対：渡辺、小林）
個人情報保護条例の一部改正	可決（賛成全員）
ILO年次有給休暇に関する条約の早期批准を求める意見書	可決（賛成全員）

● 陳 情 等 文 書 ●

提出者	住所	要 旨	所管委員会	審査結果
白馬建設業組合 組合長 塩島 正	白馬村	公共工事等における入札制度の改善を求める陳情	産業経済	不採択（賛成者なし） 落札価格を85～90%の変動制を実施している近隣市町村はなく、また除雪事業の5年契約もありません。

一般質問 (紙面の都合上、質問者本人が要約し掲載しています)

村政を問う

活力ある
村づくりをめざして



中学校生活 最後の歌声 3月18日



新入生を迎えて交通指導 4月27日

施設問題

問 起債償還費補助金の中途減額は

答 「58事業の見直し」で減額



高橋 賢一議員

【競技施設の起債償還】

問

長野冬季オリンピック競技場整備の集中投資の起債借入金は約52億円、平成2年から償還が始まり26年終了ですが、途中で補助率が変更になり完済までに1億5千万円も余計に支払わなければなりません。

村長

平成13年度、県は危機的な財政状況を改善するために「58事業見直し」が行われ、五輪施設起債償還費補助金は、長野市、白馬村、野沢温泉村に交付されていましたが、他市村との均衡をはかる意味合いもあり、4分の



【100 GOLD MEDALS】

これは、ジャンプ団体日本チームにより「日本オリンピック史上100個目のメダル」がもたらされ、この偉業を後世に伝え、さらなる栄光のジャンプ台とすべく建立された。

3から2分の1となったものです。

問

負担増となった金額を、オリンピック道路などのインフラ整備のために補償していただくことは。

村長

県からの補助金であり、契約や債務保証とは性格が異なるため困難なのが現状です。

問

国、県の事情により、一方的に補助や算定を減額されるような事態になれば、自主財源の乏しい市町村の財政運営は苦しくなります。

村長

村の財政状況が悪化した要因のひとつは、三位一体改革による普通交付税の減額です。国・県の動向に左右されないような自主財源を主軸にした財政基盤の確立が必要です。

【競技施設の大会利用】

問

使用されない競技施設は、施設管理と機器維持に悪影響を及ぼすことが懸念されます。事務事業評価で「大会は村が行うべきではない」としている評価の根拠

は。

村長

「予算編成や事務事業の見直しおよび施策等に反映させるよう努める」としていますが、経済面でも政策的部分が大きく関与しますので、評価結果との調整を図ります。

問

大会運営費における村の負担縮小に関して「費用対効果を確認する」としていますが、効果のスケールは。

長教育

大会運営の費用は、行政主催競技団体、民間からの負担金や協賛金等で賄っています。効果とは、国際大会等の大会を開催する事によって宿泊地域全体にもたらす経済効果として捉えています。

【五輪選手の発掘と育成】

問

白馬村スキー育成振興基金は。

村長

一部を取り崩して財源とすると共に、基金の有無にかかわらず1000万円程度の補助を行います。

契約問題

問 融雪剤購入契約の最大の問題点は

答 行政、業者とも問題があった



小林 英雄議員

【契約変更】

問 契約と異なる製品の提案も、受け入れも問題だと思えます。何のための契約かということになるからです。本当に必要なだったら、決められた手順できちんと契約の変更を行うべきだったと考えます。

村長 「決められた手順で、契約変更の手続きを行うべきだった」については、ご指摘のとおりだと思います。行政の最大の問題点は、購



凍結防止剤散布車

入契約における事務手続きに仕様がないうなど多くの適切でない点があったことと、環境にやさしい凍結防止剤を散布することに對する認識と知識が欠如していたことだと思います。

業者としての問題点については、変更を提案した際、書面によらず口答で行うとともに、品質等を証明する書類や、製品のサンプルを、示さなかったことだと考えています。

【事後処理】

問 山田工務店に対する指名停止の理由と根拠条文を説明して下さい。

村長 凍結防止剤購入に関して見積依頼時に示した「低塩化物有機酸系」と指定した製品が、結果として異なる製品で納入されたことは不適切な行為であることから、2ヶ月間の指名停止処分を行ないました。根拠条文は、建設工事等入札参加資格者に係る指名停止要領、別表第1の3によります。

問 山田工務店に対する損害賠償の根拠条文と、

算定基礎を説明して下さい。また、支払った公金の返還請求はすべきではないですか。

村長 損害賠償請求した根拠は、民法第415条の定めによります。算定基礎は、契約不履行により発生する損害として、契約解除後に購入した塩化カルシウムとAタイプとの購入差額分7万5075円と、村が実施した、契約の適正履行を確認するために要した各種の分析試験費用31万0400円の合計額です。Cタイプは、融雪効果も得られており、特に不利益はなかったと判断し、代金返還を請求する予定はありません。

問 Cタイプの実物が確認されていないなど、まだ全容が解明されたとは思えません。更なる解明に努め、諸規則に基づく適正な事務執行を求めますが、

村長 再三説明してきました。

村政問題

問 次期村長選への出馬の意向は

答 引き続き村政の旗振り役を



篠崎久美子議員

【次期村長選】

問 出馬の意向と、マニフェストに対しての自己評価は。

村長 次期も引き続き村政の旗振り役を務めたいと決意しました。マニフェストはおよそ70%の達成度と思っています。

問 「観光局の見直し」について、現場と観光局に、現状に対しての認識のずれがあるのでは。

村長 自分も感じているところです。

【男女共同参画 社会の実現】

問 現在の取り組み状況と成果、今後の取り組み予定は。

村長 推進協議会委員、地区普及員を選出してもらい啓発活動を行っています。参加者も一定で人数も少ない状況。今後はサポート事業も充実したいと思います。

問 委員会や審議会への女性の登用比率は。

村長 平成19年は12・3%、20年は10・9%、21年は9・4%。平成21年4月1日現在の県下市町村の同比率は22・5%で、県下平均を大きく下回っています。

問 男女共同参画条例制定への取り組み予定は。

村長 現在は「男女共同参画づくり計画」に基づいて事業を行っています。

条例制定に向けた準備段階とご理解いただきたい。

問 各地区普及員に自主的活動として依頼している事柄は。

村長 村からの依頼は全くなく、村主催の講演会

等への出席依頼のみです。

問 今後、負担が増大する介護、福祉分野での啓発的取り組みは。

村長 人手不足に関しては議論中とお考え願いたいです。

【景気・雇用対策】

問 村として景気テコ入れ策の考えは。

村長 今秋の信州グステイネーションキャンペーン

ン（JRR東日本宣伝企画）を観光業の活性化の好機と考えています。

問 村内の雇用状況と雇用対策は。

村長 県の基金を財源とした村の緊急雇用創出事業として平成22年度予算計上し雇用の取り組みを図ります。商工業者への支援策として融資保証を実施しています。

問 第4次総合計画にうたわれている特性を活かした雇用促進研究と、広域的雇用対策とは。

村長 観光活性化への取り組みが研究にあたりと考えます。大北地域の一人として情報交換を行っています。受け皿が少ないのが当村の弱点と考えます。

問 1ター、Uター、者数の把握は。

村長 把握していません。把

問 将来に向けて産業の多重化構造を考える必要性があるのではないか。

村長 言われる通りです。



白馬村男女共同参画社会づくり計画及びダイジェスト版

国保問題

問 国民健康保険事業の運営状況は

答 医療費等負担増により大変厳しい



松沢 貞一議員

【国民健康保険事業】

問

国保事業の財政、滞納等の現状は。

村長

村は農業、自営業等が多いため国保の加入率は41%（他市町村平均は27%）になります。国保の財政状況は、平成20年度、歳入は12億700万円で、その内訳は、国保税26%、国庫支出金33%、療養給付費等交付金13%等です。歳出は11億7900万円で、その内訳は、保険給付費61%、老人保健拠出金2%、後期高齢者支援金15%、介護納付金6%等です。国保税の滞納は346件、5



好評、頼もしいデマンドタクシー

600万円となっています。財政安定化のための施策は。

村長

医療費の抑制が第一です。村の平成20年度一人当たりの医療費は23万1000円（県平均は25万8000円）です。医療費の上位は循環器や消化器系の疾患で、生活習慣病によるものが年々増加しています。一方特定検診受診率は50%です。健康に対する知識の普及、啓発や予防教育の徹底と併せ、受診率を高めることにより重症化する前の早期の治療に重点を置き事業推進を図りたいと考えています。

問

今後の見通しは。

村長

医療費の増加、介護後期高齢者支援金等の負担増加や、所得の減少等により、大変厳しい運営が予想されます。制度を維持するため、保険税の見直しや繰出金についても議論する必要があります。

【デマンド型 乗合タクシー】

運行利用の実態は。

問

村長

利用登録者は2月末で616人。そのうち女性が7割です。年代では75歳以上が7割超です。平成21年4月から22年2月末までの利用者総数は5467人、1人平均4回の利用です。目的地では、自宅、医療施設、買い物等が多く、運行経費は2月末まで793万円で1人当たり1451円です。

問

高齢者の生活の利便性や社会参加を積極的に進める手段として重要な役割を担う事業と思うが今後の計画は。

村長

運行経費を抑えながらも利用者の増加を図るといふ観点から、利用促進のための環境を整備し村に必要な交通システムになるよう、地域との協働体制に向けた協議を平成23年度までの実証運行の中で方向づけていきます。

契約問題

問 住民及び議会への開示は

答 広報やホームページなどで



渡辺 俊夫議員

【契約と違う
融雪剤の購入】

問 事実確認、検証結果、再発防止策の住民及び議会への開示はどのようにしますか。

村長 広報「はくば」やホームページなどでお知らせしていく考えです。

問 事実関係などが未だ明らかにっていない状況での処分とは。

村長 見解の異なるところですが、行うべき事実確認は一応終了しているところでは考えています。

問

調査事項回答書によると、グリーンSR100は中国の天津にあるC社が製造し、韓国ソウルのJ社を経由し、村内建築会社が販売している、とあります。調査をしたところ、J社は白馬商工会ソウル事務所や、村と商工会が運営経費を負担していた白馬インバウンド推進協議会ソウル事務所と関係があったのですか？

村長 全員協議会や産業経済委員会等で説明したとおりです。

副村長 内容については精査してみたいと思います。

【村長公約の検証】

問

観光局は何をどのように見直したのですか。局長を外部から迎えたこの1年間は確実に大きく変化したと確信してい

ます。今までのイベント実施の作業部隊から戦略を立案し実施する組織へと変換してきました。

問

局への3000万円
の予算の内、2000万円は月刊誌の広告費になっていますが。

村長

アドバイザーとして4人程お願いをしております、専門的な知識の中で、一番有効と思われる方法をとったものと確信しています。なぜ雑誌か、という点についても、局長から会議で充分説明をいただいております。いかかと思っております。



契約と異なっていた融雪剤

福祉問題

問 地域ネットワークづくりは

答 22年度から社協と連携し活動を



太田 修議員

【暮らし支えあいプロジェクト】

問 災害時等で地域役員との連携と指導は。

村長 住民相互の支え合いが必要で、地域役員、民生児童委員等の協力を得て、社協で取り組み、行政が支援します。

問 ネットワーク作りでの区未加入世帯の状況把握や指導と対策は。

村長 転入時に住民福祉課で説明し加入を求めています。また、個々の価値観の相違から区としての形成にいたらない地域もあり、民生

児童委員の日々の訪問活動や住民福祉課、地域包括支援センターで相談を受け、要援護者を把握している状況です。

問 地域支え合いマップづくりでの個人情報保護と指導は。

村長 根幹を支える事業であり、災害時のマップづくりでのアウトラインやそれをどのように機能させるかの研修を行いたい。

問 火災報知器の設置状況と対応は。

村長 普及率は51・7%です。今後も、広域消防と連携し、高齢者・障がい者世帯への啓発活動や設置普及対策を考えていきます。

問 「白馬ふれ愛号」の通学、通院時間帯の増便計画は。

村長 平成23年度までの実証運行の中で方向付けをしていきたい。

【景観形成】

問 深空での看板の申請手続き及び県・村の指導は。

村長 無届けのため、県と連携して施主への撤去の働きかけを要請しています。

【資源の活用】

問 雪氷熱エネルギー検討会「雪室フェア実行委員会」の活動結果と今後の活用計画は。

村長 現在は「雪室研究会」に名称変更し、雪氷熱の食品貯蔵を主たる目的に活動をしています。今後、新エネルギー導入に関係する団体で整備が必要であれば、有利な補助メニューを提供するなど、短期から中・長期的な展開を図っていきたい。



景観上の問題が指摘されている無届看板

【プレミアム付商品券】

回収状況は。

問 販売数6万枚のうち5万9847枚を回収。回収率99・745%との報告です。業種割合では小売業79・8%、建築・建設業11・2%、宿泊業5・1%、サービス業2・9%、理美容業1・0%

問 波及効果と今後の計画は。

村長 大型店での利用が30・5%となったことで、地域活性化の一翼を担ったとしています。今後については白紙ですが、予算の状況を見ながら前向きに検討できればと考えています。

ゴミ問題

問 ごみ処理はどのような方向に

答 直接持ち込み方式から転換もある



太谷 正治議員

【利用料金とリサイクル】

問 直接持ち込みの料金変更の目的は。

村長 現在、大町市は10kg / 200円、穂高ク

リオンセンターは10kg / 210円。これと比べると白馬・小谷は格安となっています。ごみ減量化と分別化のため、段階を踏んで今回は60円 / 10kgを100円へと変更をお願いしたい。

問 リサイクル品等の集積所を現在のゴミ施設の計量ゲート前にできないか。

村長 村では各区に集積所設置を推進しています。



分別化が進むごみ処理（パッカー車とごみ処理場）

新施設では、リサイクルセンターを併設する施設になるものと考えます。既存施設を利用しての設置はできないかと検討しましたが、適当な施設が見つからず、新年度の設置は断念しています。

問 直接持ち込みの今後と、協力を得るための

村長 次は焼却施設が何処になるかわからない状況下、どこになっても良いようにするためには、むしろ直接持ち込み方式から収集方式への切り替えが必要です。

【観光問題】
問 観光局長の報酬が公募で400万円であったが、今回上がると聞くが。

副村長 観光局の理事会でお願いし、課長並み700〜800万円にしたいと考えている。

問 前年対比でのスキー客の動向は。

村長 1月は7・1%減、2月は5・8%減、2月末で69万5537人の利用者で14・3%減となっております。

不景気による影響や年末年始の曜日回りが悪かったと考えられます。

問 宿の稼働率は。

村長 11月59・8%減、12月32・7%減、1月7・5%減、2月は13万3800人泊で4・1%の減という結果です。スキー客の減少がそのまま減につながっています。長野県は稼働率33%で、全国的にも秋田・山形・新潟に次いで悪い状況です。

問 他の観光地との差別化は。

村長 観光地間の競争が大変厳しい状況です。観光局では観光振興中長期ガイドとして、白馬ブランドの再生拡大認知を進めることにより、シーズンを通して集客の拡大と収益性の拡大を目指す計画を進めています。

議会研修視察実施報告書

目的

1. 政権交代による民主党政権下の動向と本村への影響について、下條みつ衆議院議員に本村発展のために助言と支援をお願いする。
2. 全国治水砂防協会で砂防事業について理解を含め、本村における砂防事業の進め方や今後の展望について助言を受ける。
3. 長野県東京事務所で本村の産業振興のための助言と支援を受ける。
4. 首都圏の情報発信基地である長野県東京観光情報センターで、信州の観光振興、イベント状況、特産品等の紹介を受け、本村の情報提供や営業活動方法について研修する。
5. 観光局で実施している白馬セレクト事業の展開状況を把握するため「無印良品店」を視察する。

日程及び参加者

◇ 期日 平成22年3月23日
(火)～24日(水)

◇ 議会議員 11名

◇ 経費

収入
公費	27万3380円
自己負担	11万0530円
合計	38万3910円
支出
宿泊交通費	36万4695円
土産品等	1万9215円
合計	38万3910円

研修視察内容

1. 下條みつ衆議院議員と、情報交換や要望活動等の方法が変わって来たことについて懇談。本村の観光振興について助言と支援をお願いし、松系高規格道路の早期実現について強く要望。モデル事業の戸別所得補償制度、農産物の流通、食育など

について
意見交換
と要望。

2. 全国治水砂防協会、岡本正男理事長、亀江幸二常務理事他より砂防協会の歴史、事業、本村との関わり等について説明を受け懇談。

① 昭和初期より農村における砂防事業が始まり長野県の力は当初から大きく、特に本村とは関わりが深い。

② 今後の砂防事業は社会資



砂防会館での研修 3月23日

る。
③ 国交省砂防部砂防計画課の資料により、説明を受け研修した。

3. 長野県東京事務所で荒井英彦所長(大町市出身)小林一巳次長他より説明を受けた。

県、市町村の円滑な事業推進をサポートするため、県職員他21名で業務を行っている。本村の観光振興等連絡を密にし、支援を要望。

4. 長野県観光情報センターで秋山優一所长、宮沢泰則係長他より業務実績等の説明を受け懇談。職員10名、首都圏への長野県観光情報の発信基地として案内、イベント情報の提供、特産品の販売等を実施している。本村からの営業活動への助言、支援をお願いした。

5. 無印良品店 池袋西武店で川上信吾店長より商品開発や流通経路の確保等の説明を受け、店舗視察。「白馬の豚カレー」、「お米の紫舞」が商品として販売中であった。

本整備交付金(仮称)として実施される。従来の治水補助金制度は廃止し、水の安全安心基盤整備確保の分野への補助金とす

追跡レポート

こないだ聞いたことあるー

どうなったただやあー

(平成21年12月) 定例会一般質問

問 村内体育館の利用時間が、夏と冬では違って、冬の時間が制限されているのはなぜですか。また、ウイング21の休館日(月曜日)は必要でしょうか。

答 夜間使用している団体等にも要望を聞いて、利用時間を検討します。また、休館日についても、利用者の要望や動向をみて検討します。

その後

平成22年4月1日から、ウイング21とトレーニングセンターの冬期間の使用時間を、午後9時30分までに変更しました。また、ウイング21は月曜日も使用できるようにしました。

私の思い出



深空 太田 恭子

戦争と共に学んだ学生時代の一端を思い出として書いたと思う。昭和11年小学1年の時に支那事变勃発。翌年父は出征。15年一旦復員するも19年再度出征して行った。昭和16年12月8日大東亜戦争勃発。私は小学6年だった。子供心にアメリカと戦争して大丈夫かなと思った。

翌年希望に燃えて入学した女学校も1年の時は英語の勉強も出来たが2年になって敵国の言葉は学ぶ必要なしとの命令で教科書を焼き捨てた。体育の時間には竹やりで教練。テニスコートも鳥川地区の雑木林も自宅から持ち寄った鉄ですべて手作業で開墾、小麦を播いた。雑木は冬のストロブ用に背負って学校まで運んだ。農繁期には出征家庭へ田

植稲刈りの勤勞奉仕。3年の2学期には学徒動員命令で呉羽紡績大町工場へ、寮生活となり10畳位の部屋に5、6名寝泊りし働いた。私は紡績に配属になり「欲しがりません、勝つまでは。」を合言葉に一生懸命働いた。食事は大豆さつま芋の入ったご飯、小麦が粒のまま入った麦飯には閉口した。暖房は炬燵のみで寒かった。脚気や大腸炎になる者が続出した。ある日6号室長を先生が呼んでいるというので何ごとかと思いつきながら副室長として行った。室長は当時脚気で帰宅していた。先生の部屋へ入るなり「先生が「おおシラミ室長」と言われ思わず声を殺して号泣した。しばらくして先生は何も言わずに「もういいから帰れ」と云われ部屋に戻ったが泣き止められなかった。同室のみんなが心配してどうしたのと慰めてくれたがシラミを持ち込んだ本人が目前に居るのに何も言えなかった。その後親にも話すこともなく胸の中に閉じこめ60年余が経った。

当時トイレへ入れば毛シラミが這っていて衣シラミも広がっていた。半年を大町で働き翌年4月から豊科工場に移り自宅から通えるようになり嬉しかった。ある日、〇先生が出征するから学校へ集合と言われたがどうしても見送りに行く事が出来なかった。友達に昨日はどうしたのと聞かれ、ほかに用事があったとウソをついてしまった。集合写真には私は居ない。でも写真は買った。工場に退役したような兵隊さんが入って来て軍管轄の毛布を織るとか機械も入れ替えていた。明日は工場休みと急に言われどうしてかなと思った。

そして昭和20年8月15日終戦玉音放送を自宅で聞き真夏の暑い日差しの中、ミンミンが何事もなかったように鳴いていた事が頭をよぎる。その後学校へ戻ったら、体育館は学校工場になっていた。昭和21年3月女学校4年卒業。学徒動員で勉強が出来なかった思いもあり、終戦後1年だけ残っていた専攻科へ親に頼んで行かせてもらい一番楽しい女学校時代だった。

夢、私たちに。 わたしのひとこと



犬と自然と共に

飯田 佐藤 修司

ペットブームと言われるようになり久しくなります。我家にも流行に負けずと、大型犬と小型犬が一匹ずつ鎮座しています。

大型犬を飼う以前は散歩する事、ましてや四季刻々移り変わる景色を気に留める事なく生活していました。ところが御犬様の散歩に付き合うようになってから、歩く事の楽しさ、さらに何よりも天が与えてくれた自然の恵みを身近に五感で味わえる最高の贅沢さ、何気なく通り過ぎていたあちこちでの新発見等々、御犬様のおかげで体の内と外から新鮮な刺激を与えられ、健康の維持と脳のリフレッシュに大いに役立たせてもらっています。

又、何よりもリラックスして散歩できる自然の環境がまだまだ沢山残されている事にも感謝です。こんな感謝の心を持ち続けながらこれからも続けていければなと思っています。



私の健康法

森上 松澤 巖

白馬では年間通してのスポーツは登山とスキーが一番だ。ストレス解消、体力増強には最高だ。40代後半から毎年、夏の登山10回、冬のスキー10回を目途にやっている。スキーは12月から3月まで週一回位、登山は4月から11月まで月一回位。登山で足腰を鍛えていればスキーも楽。スキーをしていれば登山も楽。

どちらもほぼ一人で行っているがスキーはグレンデを一気に豪快に自己流の指導員と思って滑る。登山は日帰りが主であるが杖を持った中高年ばかりで残念だ。登山は体力のある若い人が、スキーはリフトで上がれる年配の方がもっとやってくれたらと願う。老若男女適当なバランスになれば一層楽しい。スキーはスピードが最高になったときの「一瞬の空白」、登山は非常に苦しい中の「リラックス」かと思う。山歩きやスキーは自分で下す健康診断。

大北地方には立派な山やスキー場が多い。皆様方もぜひやってみてください。昨秋古希、余り時間が無い。今年の夏は北海道の山に挑戦だ。



ほやほやの村民

みそら野 長島 律子

真っ青な空と雄大な連山、おいしい水と空気が魅力で東京を脱出し白馬に移住しました。

20代の時には毎年のように八方尾根で滑ったので、移住を機会に夢よもう一度とカービングスキー一式を買い込んで、村のスキー教室に参加しました。

昔操った杵柄と思いきや、すってんころりん、何と起き上がれないではないか。コーチに起こしてもらった羽目に。2日目以降はそんなことはなかったが、昔の滑りとはまるで逆で悪戦苦闘しました。

スキー教室の仲間の話によると、村内にはいろいろなサークルが活動し、公民館の学習会などもあるとのこと。少しずつでも参加の機会を増やし、白馬村民としてみなさんの和にとけ込んでいきたいと思っています。

「むらごと自然公園」をみんなの知恵と力で実現したいですね。

編集後記

スキー観光が主産業である当村において今季白馬村から村始まって以来のバンクーバーオリンピック、パラリンピックに8名にも及ぶ選手が日本の代表として出場できた事は、長野県、また観光白馬村の名誉と、村の誇りでもあり大変喜ばしい限りであります。白馬村の選手活躍を、応援会場でお茶の間で、応援し夢と希望と感動を、ありがとうございます。村民あげて健闘を讃えたいと思います。勝負の世界には、運、不運があります。次回には選手にとってよい風が吹く事を願うばかりであります。ご苦労様でした。

横田 孝穂 記

議会報調査編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 議長 | 下川 正剛 |
| 委員長 | 田中 榮一 |
| 副委員長 | 渡辺 俊夫 |
| 委員 | 横田 孝穂 |
| 委員 | 太田 伸子 |
| 委員 | 太田 修 |
| 委員 | 小林 英雄 |
| 委員 | 太谷 正治 |

白馬議会だより 92号
平成22年5月14日発行

発行 長野県白馬村議会
編集 議会報調査編集特別委員会
印刷 ㈲北辰印刷

〒399-9393 長野県北安曇郡白馬村
☎0261-72-5000 FAX0261-72-7001
http://gyosei.vill.hakuba.nagano.jp/gikai/ E-mail gikai@vill.hakuba.nagano.jp